

ワークショップ 暫定広場の使い方を考えよう！

第3回『暫定広場を体験しよう！』を開催しました！

そして、暫定広場の名前が **"IBALAB@広場"**(イバラボひろば)

に決まりました！



茨木市では現在、市民会館跡地エリア活用事業に取り組んでいます。新施設完成までの間、市民が自由に使える「IBALAB@広場」が2020年10月にオープンします。(6月から一部はオープンしています。)

「IBALAB@広場」を市民の皆さんが広く自由に使うために、使い方や協力が必要なこと(ルールなど)について、市民の皆さんと一緒に考えるワークショップを開催しています。

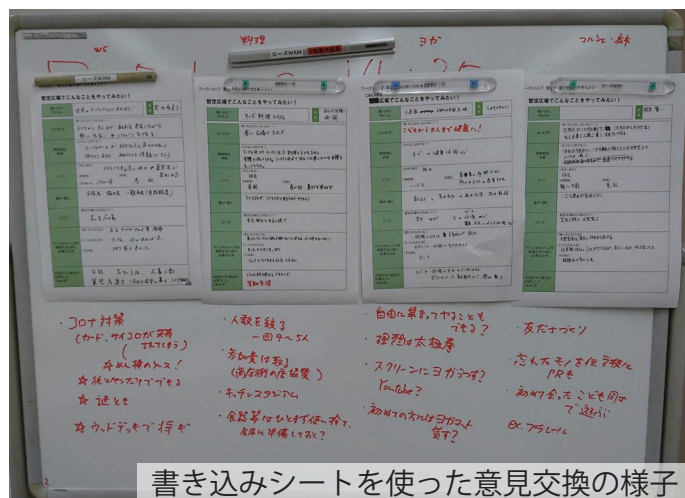
8月29日(土)に第3回ワークショップとして「暫定広場を体験しよう！」を開催しました。

今回は IBALAB@広場の現地見学会とワークショップを、新型コロナウイルス感染拡大防止の措置を取りながら、オフラインとオンラインのハイブリッド型で開催しました。

15名の方に参加していただき、活発な意見交換を行いました。



現場見学会の様子

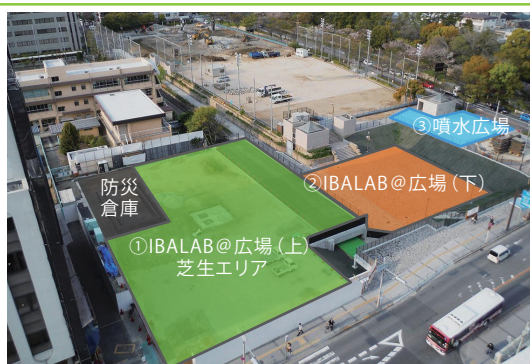


今回のワークショップでは、第2回のワークショップで話し合った「IBALAB@広場でやりたいことや実現したい情景と、そのためにどんなことを守ればよいか」を踏まえ、IBALAB@広場の使い方で工夫する具体的な方法について意見交換しました(詳細は裏面をご覧ください)。

次回は、ルール案のブラッシュアップと実際に広場を楽しむための企画の検討を行います。

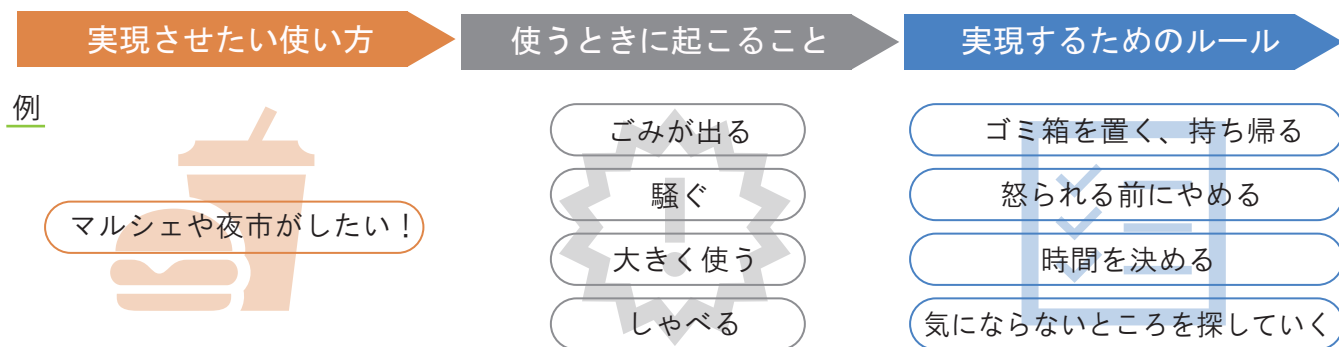
◆IBALAB@広場について

IBALAB@広場には、芝生を敷き、憩ったり過ごしたりを想定した「IBALAB@広場(上) 芝生エリア」と、活動やイベント向きの「IBALAB@広場(下)」、「噴水広場」で構成されていますが、いずれも、禁止事項などのルールやファニチャーなどを最初から全て作りこんでしまうのではなく、「つかう」と「つくる」を繰り返しながら、皆さんの「やりたいこと」を実現する、「ハーフメイド」の広場と位置付けています。



当日の意見交換の内容

ワークショップでは、以下のような流れで考えを深めました。



◆IBALAB@広場で「やってみたいこと・使うときに起こること」

実現させたい使い方	使うときに起こること
マルシェや夜市がしたい！ ストリートスポーツがしたい！ 音楽を楽しみたい！ 星空を見る会がしたい！ 花火がしたい！ ゲームやワークショップがしたい！ ペットと過ごしたい！ ボール遊びがしたい！ ヨガをしたい！ 料理したい！ 寝転びたい！	音が出る 騒いでしまう 火を使う 飛び出す ぶつかる ペットのトイレが気になる コロナ対策が気になる

◆IBALAB@広場で起こること、使い方（ルール）の工夫・アイデア

「自分がやってみたいこと」を具体的に考え、やってみると何が起こるか、そしてどんなルールがあれば実現できるかを考えました。（下記の工夫・アイデアはワークショップで出た意見の一例です。）

広場で起こること	使い方（ルール）の工夫・アイデア
音が出る 騒ぐ しゃべる	音量に気をつける 大声を出さないように気をつける 吸音材・遮音シートを置いておく
大きく使う 長い時間使う 集まる	利用時間を決める 時間を決めて交代する 近所の住人にお知らせする
火を使う	必ず水を用意する 時間帯を決める
飛び出す ぶつかる	子どもの飛び出しや年配の方に気をつける 道路から距離をとった場所で活動する 周りに伝える看板やスクリーンを設置する

第3回ワークショップをおえて



- ・IBALAB@広場という名前が決まりました。おめでとうございます！この名前と呼んでいきましょう！
- ・使いながら作っていく「ハーフメイド」の広場という力強いコンセプトを胸に刻んで、活動を盛り上げていきたいと思います。
- ・芝生の中のステージやキッチンからはたくさんの可能性を感じます。
- ・社会実験は、これからの時代に必要な価値やニーズをお試しできる場です。一緒に、小さなチャレンジをどんどん積み重ねていきましょう！

山下 裕子氏
ひと・ネットワーククリエイター／広場ニスト

「暫定広場の使い方を考えよう！」ワークショップのアドバイザー。まちなか広場の活用等を専門とし、全国まちなか広場研究会理事、NPO法人GPネットワーク理事を務め、全国のまちなか広場づくりに関わっている。